最優秀賞　諏訪・岡谷　照光寺　阿弥陀堂

諏訪湖の西方にある照光寺の、市街を見下ろす西側斜面の"仏の半眼"状の敷地に道を開き、千年の歴史を繋ぐ古刹の、仏事のお参りからひと時の安らぎを感じる身近な場所、また新たな名所となるべく阿弥陀堂建設をはじめ、敷地内の回遊を計画しました。

境内には江戸時代からの建物が現存します。次に続く平成の建物として、中心に阿弥陀堂、両翼に永代供養棟を配す現代建築とし、前面には回遊路から繋がる二十三間廊が人々の集える軒先空間を形成します。喧騒を離れ、街を眼下に遠く諏訪湖、八ヶ岳を眺めながら先人を想う、"時の場所"としました。夜間は庇に反射した照明が建物全体を照らし出し、見上げた斜面に西方浄土を思わせる光景が浮かび上がります。

■建設地：岡谷市本町二丁目6-43
■構造規模：S造平屋建て、延べ156.84㎡
■竣工：2018年11月

■ 設計
SITE 一級建築士事務所・総合建設業 株式会社 サイト.
代表取締役　濵　一平
岡谷市本町４丁目13-16　TEL 0266-24-1070　FAX 0266-21-1251

■ 施工
山岸建設株式会社
代表取締役社長　山岸 邦太郎
岡谷市成田町2-6-15　TEL 0266-23-3100　FAX 0266-23-2108

優秀賞　なかんじょの店　ふとんのたけうち新店舗

■建設地：上田市中之条73番地
■構造規模：木造（大断面集成材）２階
延べ337.9㎡
■竣工年月：2018年12月

上田市郊外の中之条（なかんじょ）の幹線道路が拡幅されることになり、店舗（寝具店）と住宅を全面的に建替えた。

寝具のイメージにつながる温り感を感じさせつつ地域気質に馴染む店を希望されたので、信州唐松集成材を使用した木質感あふれる店舗とした。敷地の高低差に合わせたスキップフロア構成とし、樹状架構が林立するダイナミックなショップスペースとした。

不揃いなロードサイド建築が建ち並ぶ典型的な郊外道路に面しているが、同じ指向を競うのではなく、むしろ正反対の落ち着いた佇まいにすることによって、物静かにだがしっかりと存在を伝えていくという逆説的な外観デザインとした。

■ 設計
㈲関建築とまち研究室
代表取締役　関　邦則
長野市西長野2-4　TEL 026-233-5566　FAX 026-233-5567

■ 施工
総合建設業 株式会社 図南
代表取締役　山田哲也
上田市住吉331-3　TEL0268-25-0706　FAX0268-25-0707

優秀賞　やぶはら小児科医院

■建設地：上伊那郡箕輪町大字三日町969-3
■構造規模：木造平屋、延べ223.92㎡
■竣工年月：2019年3月

第一に考えたのが子どもが安心して診療を受けられる建物とすることです。そのために外観は片流れ屋根を組み合わせ背後の山の連なりに溶け込ませ、仕上げは土壁風の塗り壁と木材を使った素朴な表現とし病院らしくないものとしました。

玄関を開けると正面はガラス張りで山並みが見えます。風除室からは直接小部屋に入れます。感染症の患者さんの待合室あるいは他の子どもとなじめない子どもの待合室にもなります。待合室と廊下の共用空間の仕上げには床と天井が北相木村の唐松板、壁が珪藻土の塗り壁と安曇野の小幅唐松板を用いて、自然素材に囲まれた居心地の良い空間を作りました。

■ 設計
HAL設計室　代表　荒井　洋
松本市開智1-5-13　TEL0263-33-6186

■ 施工
宮下建設株式会社
代表取締役　宮下金俊
伊那市上牧6474　TEL0265-72-3191

優秀賞　旧脇本陣「粂屋（くめや）」

■建設地：小諸市市町1-2-24
■構造規模：木造 在来工法2階建、延べ487.10㎡
■竣工年月：2019年3月

江戸時代、北国街道信州小諸宿の脇本陣であった建物をリノベーションして宿屋として現代に蘇らせた。江戸時代当時の町屋形式に戻し、中庭を復活させ、その時代の生活の面影を現代に伝え、変わりゆく中でも、変わらないものとして、忘れかけたものを見つけられる工夫をした。

ここを訪れる人々のコミュニケーションの場として、建築、中庭、裏庭の風景が五感に語りかけてくる風情のある空間の創出に努めた。

■ 設計
甘利享一建築設計舎
AMARI・ARCHITECT・ASSOCIATES
主宰　甘　利　享　一
〒384-0092　小諸市平原1680　TEL 0267-23-3225
http://members.ctknet.ne.jp/a-a-a/　FAX 0267-25-0066

■ 施工
株式会社　渡辺建設工務
代表取締役　渡辺武史
小諸市御影新田2528-2　TEL0267-22-4098　FAX0267-22-1791

優秀賞　清泉女学院ピラール館

■建設地：長野市栗田1038-7
■構造規模：鉄骨造6階建て＋PH、延べ5911.25㎡
■竣工年月：2019年2月

人と地域と未来とﾟつながる。キャンパスをコンセプトに、長野駅東口駅前の立地を活かした開かれたキャンパスを目指しました。白を基調とした外観や校章に使われている白百合の花をモチーフにした多目的ホールにより、清泉女学院の品格や個性を表現しつつ、公共空間との連続性を意識し、街角に面してオープンスペースや緑地を設けています。ガラス越しに見える学生の姿と街を行く人の姿が重なり、日が暮れると街を優しく照らすランドマーク性のあるキャンパスにより、長野駅東口に賑わいのある新たな風景を生み出したいと考えました。

また、外断熱工法やクールピットの採用などにより省エネ性能を高め、安定した学習環境を確保しました。

■ 設計
ACA 株式会社エーシーエ設計
取締役社長　関口浪男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4　TEL026-296-8300

■ 施工
北野建設株式会社
代表取締役社長　北野貴裕
〒380-0935 長野市中御所岡田45番地1 山王ビル　TEL026-233-5111

総評

令和2年度建築作品選考委員会
委員　土本 俊和（信州大学工学部教授）

長野県における真摯な建築的いとなみ

新型コロナウイルスにより世界中の様々ないとなみに悪影響が出ております時節ではありますが、選考するためには提出いただいた建築作品を実際に見る必要があります。計6名の委員は、令和2年4月21日に長水建設会館1階会議室で作品選考委員会を開催いたしました。

ご提出いただいた作品は計5点で、小規模な作品といえるものが4点、大規模な作品といえるものが1点で、すべてが力作でありました。

すべてが力作といえることの共通点は、施主の意向に真摯に対応している姿勢がそれぞれの建築作品からはっきりと見えた、という点にあります。施主を大切にするという点は、長野県における建築活動の誇ることのできる特長であるということができるでしょう。このことが今回の建築作品選考を通じて示されたと考えるに至りました。

施主を大切にするという姿勢は、長野県で建築活動を実践している建築事務所が地域と良い意味で密接に結びついていることから導かれたものでしょう。提出いただいた5作品がそのことを示していました。

まず、高低差があり曲線を持つ地形を建物の曲線で生かしつつ、宗教建築としての厳かさとともに親しみを醸し出す寺院建築は、地域の人々が思いを馳せる土地の上にいかにもふさわしい姿でたつ建築でありました。

また、歴史的な建造物を対象とした作品は、古い建物が伝える元来の姿を尊重しつつ新たに加えるデザインを極力抑えることで、地味ながら味わい深く、信州ならではの落ち着きを出していました。

あるいは、材料が細やかに無理なく選ばれた小規模な医院は、内部空間を充実させつつ、低く緩やかな屋根が山岳稜線を背後に持つ地域の景観形成に寄与していました。

さらに、新店舗として既存の建築群と連携して店舗と倉庫をひとつにまとめた作品は、簡素な倉庫としての姿を醸し出しており、その姿が新店舗としての新鮮味を与えていました。

さらにまた、駅前の限られた敷地の上に立つ大規模な建築作品は、外環をシンプルにまとめ上げ、内部を密に構成しつつ、ゆとりを与える空間を有効に配置していました。

以上、計5点の作品に見られたそれぞれの特長は、すべてが施主の意向を大切にした結果から出たものであり、施主からの信頼に真摯に答えた結果から出たものである、ということができると思います。この点は、長野県の誇りとして是非とも維持向上に努めたい点であるとともに、広く世界中に発信していきたい点である、と考えます。